令和４年度　第３回あさお福祉計画及び地域包括ケアシステム推進会議

次　　第

日時　令和５年２月１０日（金）１３時
場所　麻生区役所４階　第１会議室

１　開会
事務局説明

２　議事
（１）麻生区地域福祉計画について
①第６期進捗状況について
②第７期計画策定スケジュールについて
③次期計画策定に関する意見交換

（２）地域包括ケアシステム推進に向けた取組について
あさお希望のシナリオプロジェクトの進捗状況について

（３）その他

３　閉会

【配布資料】
委員名簿
座席表
資料１　第６期麻生区地域福祉計画進捗状況
資料２　第７期麻生区地域福祉計画策定スケジュール
資料３　次期計画策定に係る検討事項について
資料４　各区福祉計画体系

参考資料　あさお希望のシナリオ　活動報告会

あさお福祉計画及び地域包括ケアシステム推進会議委員

令和５年２月現在
（敬称略、順不同）

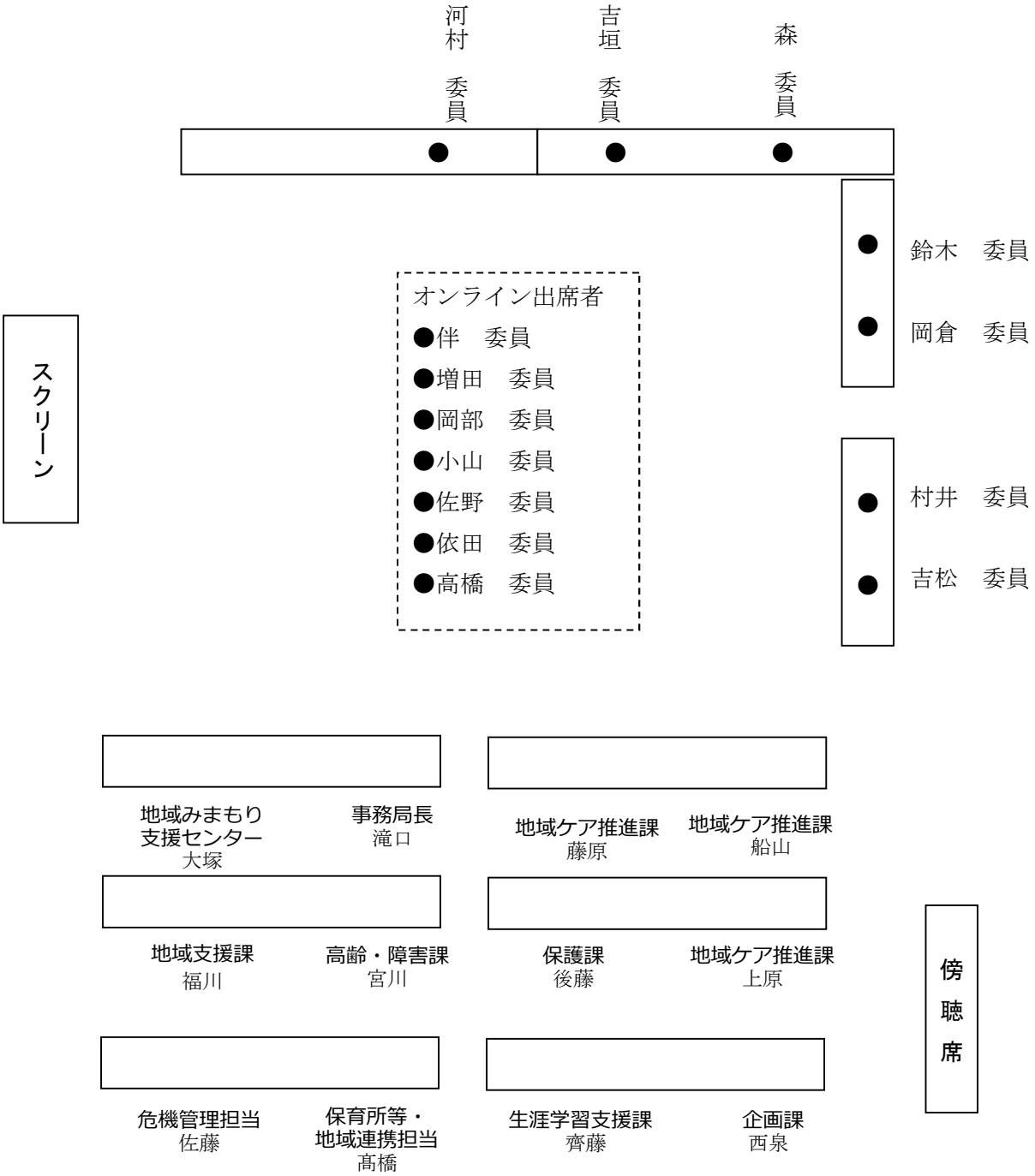
	区　分	団体名など	氏　名	備　考
1	学　識	田園調布学園大学	村井　祐一	会場
2	区　民	公募区民	岡倉　進	会場
3	〃	公募区民	伴　行江	Zoom
4	〃	公募区民	増田　いづみ	Zoom
5	団体推薦	麻生区町会連合会	鈴木　正視	会場
6	〃	NPO 法人あさお市民活動ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ	岡部　俊幸	Zoom
7	〃	麻生区民生委員児童委員協議会	森　眞澄	副委員長 会場
8	〃	川崎市医師会麻生区医師会	吉松　昭彦	委員長 会場
9	〃	子ども関連ネットワーク会議	吉垣　君子	会場
10	〃	麻生区地域包括支援ｾﾝﾀｰ連絡会議	小山　景子	Zoom
11	〃	麻生区地域自立支援協議会	河村　裕孝	会場
12	〃	麻生東地区社会福祉協議会	佐野　幸子	Zoom
13	〃	柿生地区社会福祉協議会	依田　明子	Zoom
14	関係機関	麻生区社会福祉協議会	高橋　由加	Zoom

事務局名簿

	所　属　・　役　職	氏　名	備　考
1	地域みまもり支援センター所長	滝口　重充	事務局長
2	地域みまもり支援センター副所長	大塚　吾郎	
3	地域ケア推進課長	藤原　亮子	
4	地域支援課長	門馬　ひとみ	代理 福川 祥子係長
5	児童家庭課長	野口　聡	欠席
6	高齢・障害課長	宮川　真理子	
7	保護課長	後藤　充	
8	衛生課長	泉　浩人	欠席
9	保育所等・地域連携担当課長	高橋　実千代	
10	危機管理担当課長	佐藤　潤	
11	企画課長	塚本　猛	代理 西泉 壮一課長補佐
12	生涯学習支援課長	齊藤　誠	
13	地域ケア推進課　企画調整係長	船山　智志	
14	地域ケア推進課　企画調整係　主任	長瀬　旭宏	欠席
15	地域ケア推進課　企画調整係	上原　慎也	

令和４年度　第３回あさお福祉計画及び地域包括ケアシステム推進会議
座席表

（敬称略、順不同）



資料１

計画理念 ： みんなで支え合う 福祉のまち麻生 ～麻生区らしい地域包括ケアシステム構築をめざして～

基本目標		基本施策	取組No.	取組名	事業・取組	関連する部署	数値で把握することが可能な取組（９月末時点）※重点項目のみ12月末時点	取組内容の実績等（９月末時点）※重点項目のみ12月末時点	コロナ禍の影響の有無	備考（コロナ禍の影響に関して）
１ 区民が主役の地域づくり	◆地域活動の担い手が発掘・育成される仕組みがある ◆幅広く区民が地域活動に参加している ◆まちのひろばやソーシャルデザインセンターの創出等に向けた取組を推進している	１ 地域活動を担う人材の発掘と育成	１	地域活動の参加につながる取組の推進	地域活動に関わる人材の発掘と育成	生涯学習支援課	シニアの社会参加支援：６回 92人 市民エンパワーメント研修：5回 39人 識字ボランティア研修：10回184人 保育ボランティア研修：3回21人	・シニアの社会参加支援について、「写真＆エッセイを学び、思いを表現しよう！」と題して講座と展示会を開催し、シニア世代に対して地域の仲間づくりの機会を提供した。 ・市民エンパワーメント研修については、町から色を採取・発表するワークショップを通じて、麻生区に興味・関心を持ち、地域の魅力を色で表現できる人材を育成した。 ・識字ボランティア研修について、新規ボランティアの育成に向けて、10月から12月にかけて全10回開催した。 ・保育ボランティア研修について、見守り型保育や乳幼児の救急救急の内容を中心に11月に3回開催した。	無	
						地域支援課	認知症サポーター養成講座：37回 すくすく子育てボランティア養成事業 ボランティア活動参加者　134人 健康づくりボランティア養成教室： １コース　修了者１４人 健康づくりボランティア体験会： ２回　６人	・認知症サポーター養成講座を開催し、認知症への理解を深め、地域の中で見守るサポーターを養成した。 ・1歳6カ月児健診、3歳児健診、すくすく相談（育児相談）等でのボランティア活動を支援した。 ・健康づくりボランティア養成教室（全４日間）を食生活改善推進員養成教室と同時開催。ボランティア活動に繋がるよう、既存の地区活動の体験会を実施。 【今後の実施予定等】 ・1月に健康づくりボランティアスキルアップ講座を実施予定	有	健康づくりボランティア養成教室について、急遽オンラインも併用し実施した。また、グループワークを控えるなど、感染状況を考慮し実施内容の見直しを行った。
					食生活改善推進員の育成	地域支援課	食生活改善推進員養成教室： 1コース　修了者14名	・食生活改善推進員養成教室（全４日間）を開催。今年度から新たに、健康づくりボランティアの養成教室と一緒に開催し、申込者が１７名あったが、新型コロナ感染症拡大によりキャンセルがあった。 ・食生活改善推進員の継続的な育成として、学習会において食に関する情報提供を行った。また、危機管理担当主催の区総合防災訓練において炊き出し訓練への従事を依頼する等活動場所の提供を行い、活動を支援した。	有	食生活改善推進員養成教室について、急遽オンラインも併用し実施した。また、調理実習やグループワークを控えるなど、感染状況を考慮し実施内容の見直しを行った。
					地域人材コーディネート機能の充実	生涯学習支援課	生涯学習相談コーナーの開設：週1回	・10月19日に再開した生涯学習相談コーナーを週1回のペースで開催し、その中で「麻生区市民団体検索システム」を活用した。	有	新型コロナウィルス感染症の影響により、生涯学習相談コーナーを約2年半休止した。
					地域活動参加につなげる「ちいきのちからシート」の活用	地域ケア推進課 地域支援課	「ちいきのちからシート」実施団体数： 2団体	区内こども文化センター向けに実施し、意識の共有を行った。また、金程中学校区地域教育会議にて実施し、地域についての話し合いのきっかけづくりを行った。 【今後の実施予定等】 ・3月にイベントにて実施予定	無	
					学生ボランティア活動の促進	地域ケア推進課	学生ボランティアマッチング数：１０名 学生ボランティアに関する講義：３回	大学の授業内で認知症サポーター養成講座や行政社会福祉職について、地域の福祉活動についての講義を実施することで、学生の福祉マインドの醸成に寄与した。	有	地域活動の休止や参加人数の制限などによる派遣先の減少。コロナ禍以前と比較し、大学も学生の積極的な参加の呼びかけを行いにくい状況が継続している。
						地域支援課		大学の授業内で認知症サポーター養成講座を行い、ボランティア活動の担い手となるための啓発を図った。		
		２ 区民が主役の地域活動の推進	２	地域活動団体等への活動支援	子育てグループへの活動支援	地域支援課	支援団体3団体。対象者総数１９名	育児相談および出前講座を実施。 グループ運営について、近況を確認し今後の運営について一緒に話し合う	有	出前講座の依頼が減少していること、サロンに参加する母子も減少している。
						保育所等・地域連携担当	子育て自主グループ訪問：１４カ所	麻生区ちびっこおでかけMAP作成のため、自主グループ等と連絡を取り、配布のため訪問して実施状況を確認した。 【下半期の実施予定等】 自主サークル向け出張講座の広報	有	
					子育て人材バンク事業	地域ケア推進課	子育てボランティア派遣数：40人（延べ）	子育てサークル交流会にて事業の紹介を実施。ボランティア会員１人、利用会員１団体が新規登録。 【下半期の実施予定等】 市政だよりにて広報を実施予定	無	
					認知症カフェ・サロン等への活動支援	地域支援課	認知症サポーター養成講座：１回	活動に参加し、活動内容等状況把握を行った。オレンジリング百合丘で認知症サポーター養成講座を実施した。 【下半期の実施予定等】 カフェからの希望により随時認知症サポーター養成講座を実施。	有	コロナの影響により休止しているカフェがある。
						衛生課	－	食品の提供等を行う活動の相談はなかった。	有	新型コロナウイルス感染症の患者減少による地域活動の再開に伴い相談が増える見込み。
					食生活改善推進員・配食等ボランティアへの活動支援	地域支援課	学習会支援：9回 124名	食生活改善推進員の継続的な育成として、学習会において食に関する情報提供を行った。また、健康ボランティアや配食ボランティアに対し、食に関する情報提供を行った。	有	新型コロナウイルス感染症の影響により、外部に向けた食生活改善推進員や会食ボランティアが十分に活動できていない。
						衛生課	－	区内の配食等ボランティア10団体から、会食活動、配食活動及びミニデイサービスの活動予定が提出された。うち1団体に衛生教育を実施（6月）。 【下半期の実施予定等】 他の1団体に衛生教育を実施予定（10月）	有	新型コロナウイルス感染症の患者減少による地域活動の再開に伴い相談が増える見込み。

計画理念 ： みんなで支え合う 福祉のまち麻生 ～麻生区らしい地域包括ケアシステム構築をめざして～

基本目標		基本施策	取組No.	取組名	事業・取組	関連する部署	数値で把握することが可能な取組（9月末時点）※重点項目のみ12月末時点	取組内容の実績等（9月末時点）※重点項目のみ12月末時点	コロナ禍の影響の有無	備考（コロナ禍の影響に関して）
1 区民が主役の地域づくり	◆地域活動の担い手が発掘・育成される仕組みがある ◆幅広く区民が地域活動に参加している ◆まちのひろばやソーシャルデザインセンターの創出等に向けた取組を推進している	2 区民が主役の地域活動の推進	3	地域資源を活用した地域づくりの推進	希望のシナリオ実現に向けた取組（プロジェクト）	企画課	あさお希望のシナリオプロジェクト検討会の開催	あさお希望のシナリオプロジェクト検討会を開催し、ＳＤＣモデル実施に向けて、５つのプロジェクト（ＳＤＣ－Ｃａｒ、コーディネート事例ヒアリング、ＷＥＢ＆ＳＮＳ、ハローブロジェクト（チラシ）、まちのひろば祭り）を試行し、検証を行う。 【下半期の実施予定等】 １１月まで各プロジェクトを実施し、１２月にプロジェクト実施報告会を開催予定。その後ＳＤＣモデル実施に向けたモデル案を作成。	有	検討会の開催については対面式とオンラインとの併用で開催している。
					麻生市民交流館やまゆりの活用促進	地域振興課	・市民活動相談窓口の開設：週2回 ・情報誌の発行： 「やまゆりニュース」（6月） 「あさおふれんず」（4・8月） ・麻生区地域コミュニティ活動支援事業： 6団体	相談窓口（週２回）や情報紙「やまゆりニュース」（６月）、「あさおふれんず」（4・8月）の発行により、主に麻生区内の市民活動情報の提供、発信を行っている。 【下半期の実施予定等】 人材育成講座（アクティブシニア講座：1/14～2/11、全5回）、市民活動団体交流イベント（市民活動団体発表会：2/12、ビバ！あさおの子どもたち：2/19）を実施予定。	無	
			4	地区カルテを活用した地域づくりの推進	地区カルテを活用した地域づくり	地域ケア推進課	HPアクセス数：96.8回/月	地域情報交換会にて民生委員児童委員・町会・自治会、地域包括支援センターに対し地区カルテ（概要版）及び共通フェイスシートを配布し、地域に関する情報の共有を行った。 【下半期の実施予定等】 各種統計調査の結果を反映し情報更新を行う。	有	会議や講演会の開催が減少したことで、地区カルテを活用する場も減少している。
						地域支援課	―	地域ケア圏域会議で地区カルテを地域課題の共有などに活用した。		
		3 健康づくり・介護予防の推進	5	健康づくり・介護予防事業の推進	介護予防グループへの活動支援	地域支援課	―	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、活動を自粛していたグループが徐々に活動を再開し始めたため、継続的に活動できるよう助言・支援した。	有	コロナで自粛していた活動グループの中にはボランティアの高齢化を理由に閉会をするグループもある中で、つながりづくりの必要性を改めて感じ、新規に立ち上げるグループもある。
					小地域単位での健康づくり	地域支援課	―	地域で健康教育等を行い、健康づくりの普及啓発を実施し推進した。また、新たにラジオ体操を通じて健康づくり、地域づくりを行うグループやサロンを立ち上げたグループに対し、助言・支援した。	有	感染症の影響により、新たな活動の立ち上げには慎重になっている地域もある。
			6	健康に関する知識の普及啓発	健康づくり・介護予防に関する普及啓発（講演会等）	地域支援課	・身体をつくる講演会　3回（予定） 「中高年からの骨折予防・転倒予防 「骨の健康」 「食育」 ・子育て世代向け講演会 「食事から骨粗しょう症予防」１回 10人	麻生区では、若い世代の痩せ・高齢者の骨折が多いことから、“麻生区民の骨折予防へ向けた取り組み”をテーマに、ハイブリット形式の講演会を予定している。講演会の周知として、幼・小・中・高等学校、医療機関、薬局、包括、こ文、いこいの家、支援センター、スポーツセンター、社協、役所関係、地区活動等へポスターを送付し、小中学校は校長会にて依頼をした。麻生区PTA協議会にも、情報伝達メールに取り上げてもらえるか依頼。また、子育てフェスタや区民まつり、スポーツの日記念事業等で周知をした。 【下半期の実施予定等】 身体をつくる講演会を11～３月に開催予定（３回）	有	地域活動の減少に伴い、支援回数も減少している。
					健康づくり・介護予防に関する相談	地域支援課 高齢・障害課	栄養相談　４名	地域での活動や電話、来所相談等で健康づくり・介護予防に関する相談に応じ、適宜それぞれの状況に合った情報を提供した。	有	地域への出前講座等が現状していると思われるため、相談を受ける機会も減少している。
					出前講座	地域支援課	講座開催数：16回　参加者211人 （栄養　1回　９人）	地域の活動団体に対し、健康づくりや介護予防をテーマに講座を実施し、健康づくりや介護予防の推進を図った。	有	依頼があった講座もコロナの感染状況により、中止や延期となったものがあった。
					感染症・食中毒予防の普及啓発	衛生課	―	「今、何の病気が流行しているか！」の発信については、区内医療機関14か所に毎週行うとともに区役所内で3か所に掲示した。 食品衛生月間（8月）における食品衛生指導員による普及啓発活動の実施。 【下半期の実施予定等】 ＨＩＶ関連として、区役所ロビー（11月21日～12月1日）にて啓発チラシ入りティッシュ、パンフレットを配架	無	
						地域支援課	健康づくりボランティア養成教室： １コース　修了者１４人（再掲）	健康づくりボランティア養成教室において、感染症予防、食中毒予防の普及啓発を実施した。	有	コロナウイルスの感染の影響で、感染対策の意識は高い団体が多い。

計画理念 ： みんなで支え合う 福祉のまち麻生　～麻生区らしい地域包括ケアシステム構築をめざして～

基本目標		基本施策	取組No.	取組名	事業・取組	関連する部署	数値で把握することが可能な取組（９月末時点） ※重点項目のみ12月末時点	取組内容の実績等（９月末時点） ※重点項目のみ12月末時点	コロナ禍の影響の有無	備考 （コロナ禍の影響に関して）
２ 区民本位の福祉サービスの提供	◆区民に利用しやすい情報とサービスが提供されている ◆各専門分野、支援機関の連携で相談支援に取り組む	１ 保健・福祉情報の発信と充実	７	保健福祉に関する情報発信の充実	様々な媒体を用いた保健福祉に関する情報発信	全課	—	・情報コーナーを適切に管理し、必要な情報が必要な人たちに届くよう広報に努めた。（総務課） ・あさお子育てフェスタにおいて、新たに「しんゆりフェスティバルマルシェ」にブースを出展し、保健福祉に関する情報発信を行った。また、市政だより麻生区版における地域包括ケアに関する広報として、１１月号に麻生区高齢者見守りネットワーク事業、１２月号に地域活動紹介に関する特集記事を掲載した。（企画課） ・保健福祉に関する情報に関して情報提供があった際は、チラシ等を窓口に配架している。また、フロアのレイアウト変更により掲示スペースが増え、様々な情報発信が可能となった。（区民課） ・市政だより及びホームページをはじめとした広報媒体により制度周知を行った。（保険年金課） ・「保健福祉の相談窓口一覧」と「子育てガイドブック きゅっとハグあさお」を改訂し、窓口及び関係各所に配架した。また、「子育てフェスタ（再掲）」や「区民まつり」、「福祉まつり」において保健福祉に関する情報発信を行った。（地域ケア推進課） ・消費者行政センターの啓発物品を配置し、高齢者の消費者被害防止等の啓発を行った。また、高齢者福祉のしおりや介護事業所に関する冊子、認知症に係るガイドブックなどを常設配架した。（高齢・障害課） ・認可外保育施設の情報提供シートや子育てに関する情報、児童扶養手当やひとり親に対する支援情報など、ちらしやパンフレットをスタンドに設置し、来所された方が手に取りやすいようにしている。また、認可保育所の空き情報について、HP上に掲載し、来課された方にも、最新かつ需要度の高い歳児の空き状況が一目でわかるように掲示している。さらに、認可保育所及び認可外保育施設の位置を色付けした地図を窓口に掲示することで、入所相談や申請に伴う利便性を高めている。（児童家庭課）	無	
		２ 窓口における相談体制の充実	８	窓口におけるサービス機能の向上	窓口におけるサービス機能の向上	全課	—	・窓口業務案内を作成し職員が活用することにより、円滑な窓口案内を行うなどした。（総務課） ・来庁者への対応として、窓口番号表示システムの利用により、番号表示および音声で呼び出しを行った。またタブレット端末の導入に伴い、フロアレイアウトを変更し案内員を配置した。障害をお持ちの方には職員がフロアに出向き、案内や手続きを行っている。（区民課） 丁寧かつ親切な窓口対応を徹底するために、定期的に課内情報共有を実施して、サービスの維持・向上を図った。（保険年金課） ・窓口番号表示システムをリニューアルし、自動音声呼び出し機能が追加されたことで職員が発声することなく来庁者をカウンターへ案内することが可能となり、感染リスクを軽減できた。ベビーカーを引く保護者をより近い席に案内したり、日本語以外を母語とする方の保育所相談等へは翻訳機能付きiPadでその方が理解できる言語で対応を行った。（児童家庭課） ・番号発券機を設置して、スムーズな対応となるよう表示や案内を見直した。（高齢・障害課）	有	・窓口カウンターやパーテーションを定時消毒し、設置しているボールペンは消毒済みと使用済みのものを分ける等、より重点的に感染症対策を実施。 ・整列時に適切な間隔を確保するため待機列に足跡マークを設置し、密にならないよう配慮した。（区民課）
		３ 専門分野の相談支援体制の充実	９	子どもに関する相談支援体制の充実	子どもに関する相談支援	地域支援課	職員のスキルアップのための研修：スーパーバイズ研修　７回	乳幼児虐待予防に関わる職員の対応スキル向上のため、講師3名に依頼をし、スーパーバイズ研修を実施している。 【下半期の実施予定等】 乳幼児虐待予防事業に関わる専門職員の対応力向上のためのスーパーバイズ研修を残り3回実施予定。	無	
					支援の必要のある児童や家庭に対する相談支援	地域支援課 高齢・障害課	専門的な相談：３８回（月４～７回）開催 発達が気になる子どもへの関わり方を学ぶ教室：４コース（2日間コース）計８回実施。	発達の遅れが疑われる子どもやその家庭への支援として、専門的な相談と関わり方を学ぶ教室を定期的に実施した。 【下半期の実施予定等】 専門的な相談：３４回（月４～７回）開催予定 発達が気になる子どもへの関わり方を学ぶ教室：４コース（2日間コース）計８回開催予定。	無	

計画理念 ： みんなで支え合う 福祉のまち麻生 ～麻生区らしい地域包括ケアシステム構築をめざして～

基本目標		基本施策	取組No.	取組名	事業・取組	関連する部署	数値で把握することが可能な取組（９月末時点）※重点項目のみ12月末時点	取組内容の実績等（９月末時点）※重点項目のみ12月末時点	コロナ禍の影響の有無	備考（コロナ禍の影響に関して）
２ 区民本位の福祉サービスの提供	◆区民に利用しやすい情報とサービスが提供されている ◆各専門分野、支援機関の連携で相談支援に取り組む	３ 専門分野の相談支援体制の充実	10	保健福祉に関する相談支援体制の充実	知的障害者・身体障害者・精神障害者への相談支援	高齢・障害課	特別支援学校等の卒業予定者の進路の相談支援：29名	知的障害者担当のケースワーカーは、特別支援学校等の卒業予定者の進路の相談支援や、その他知的障害者の生活全般の支援を行った。また、身体障害者担当のケースワーカーは月４０件程の手帳交付等を通じ、ヘルパー利用や福祉用具の導入などの専門相談支援を行った。障害者福祉に係る制度の改正や多様な対象者のニーズに適切に対応できるよう積極的に研修等に参加。 【下半期の実施予定等】 知的障害担当は、１２月下旬に、卒業後の進路希望調査を行い、通所先の入所調整会議を行う。	無	
					一般精神保健相談・老人精神保健相談	高齢・障害課	一般精神保健相談件数：９件 高齢者精神保健相談件数：５件	精神科医による専門的な相談を受ける場として実施した。一般及び高齢者精神保健相談について、月1回ずつ実施し、家族からの相談に加え、地域包括支援センター等関係機関からの相談依頼もあった。	無	
					感染症患者等への相談支援	衛生課	―	新型コロナウイルス感染症の流行に対して、患者及び濃厚接触者の医療及び感染予防の観点に立ち、区内関係部署及び医療機関等と連携し、効果的な支援を実施した。	有	新型コロナウイルス感染症の患者急増を受け、区内関係部署との連携を強化し多様な患者ニーズに応じた支援を実施するとともに、医療機関等と調整を図りながら入院手配などの重症化対策を実施した。
						地域支援課		衛生課と協力し、コロナウイルス感染症患者の療養支援を実施した。	有	感染状況に応じて協力体制をとっている。
			11	虐待に関する相談支援体制の充実	高齢者・障害者（児）虐待に関する相談支援	高齢・障害課	通報件数： 障害者に対する虐待：５件 高齢者に対する虐待：２９件	地域包括支援センターや相談支援センター、麻生警察署との連携を密に相談や通報への迅速な対応・支援を行った。 【下半期の実施予定等】 高齢者支援虐待に係る危害リスク確認シート・安全探しシート（従来のリスクアセスメントシート）の改定	無	
					児童虐待に関する相談支援	地域支援課	区内小中学校訪問： 小学校16校、中学校8校 乳幼児虐待予防事業スーパーバイズ研修：４回 要保護児童対策地域協議会スーパーバイズ研修：１回 個別支援会議：延べ 26 回（対象児童数５８名）	・育児負担のある保護者や当該児童の相談、学校等関係機関からの相談、通告に適宜応じた。対応のスキルアップのため、乳幼児虐待予防事業スーパーバイズ研修、要保護児童対策地域協議会スーパーバイズ研修を課内職員向けに左記のとおり実施した。 ・主任児童委員の主催で、５～6月の期間中に区内全小中学校訪問を実施し、情報交換や共有を行った。 ・個別の要支援児童等への対応について、個別支援会議を左記のとおり随時実施した。 【下半期の実施予定等】 ・乳幼児虐待予防事業に関わる専門職員の対応力向上のためのスーパーバイズ研修を残り3回、要保護児童対策地域協議会スーパーバイズ研修を残り１回開催予定。	無	
			12	成年後見制度への対応の充実	成年後見制度の普及啓発と利用支援	高齢・障害課	市長申立：１件（障害） 市長申立：2件（高齢）	虐待対応の中で成年後見の利用が必要と思われる対象者に対し関係機関と連携し、制度説明等利用支援を行った。親族による申立てについては川崎市成年後見支援センターや法テラスを案内するなど連携して相談対応している。	有	緊急事態宣言等により裁判所の機能が遅延したことで、選任までに時間を要することもあった。
			13	精神保健福祉事業の充実	精神保健福祉サービス等に関する普及啓発	高齢・障害課	講座開催数：１回（予定）	心の健康づくりを目指す市民団体『ＡＳＡＯ井戸端会議』の活動支援を通して、心の病や精神障害に関する普及啓発活動（講演会）、精神障害者を抱える家族向けの講座をそれぞれ年１回実施している。 【下半期の実施予定等】 普及啓発のための講演会を２月２５日開催予定。	有	昨年度予定していた講演会・講座は今年度に延期となった。
					社会復帰相談支援事業	高齢・障害課	デイケア：月2回 参加者　延べ２９人	デイケアを月2回実施しており、卓球・書道・ヨガなどのプログラムの他に、栄養士を招き食事と健康の講義をするなど、生活や健康に役立つ内容を提供した。参加者同士の交流や、自己表現が出来る場になっている。	有	感染防止の観点からプログラム内容を検討した。
			14	専門分野の連携体制の強化	北部地域療育センター連絡会議	地域支援課	―	第１回連絡会議を６月に開催。発達支援などを必要とする子どもについて、専門職が情報共有を行い連携して支援した。 【下半期の実施予定等】 第２回連絡会議を１２月頃開催予定。	無	
					要保護児童対策地域協議会実務者会議	地域支援課	要保護児童対策地域協議会実務者会議 代表者部会　：１回（９月） 連携調整部会：６回（毎月）	区内児童関連機関との適切な連携を目的として、第１回要保護児童対策地域協議会実務者会議（代表者部会）をオンライン（一部会場参加あり）にて開催し、要対協の説明や児童の人権に関する講義を行った。同会議の連携調整部会を左記のとおり実施し、児童相談所及び各関連部署等と要保護児童等に関する情報共有や連携に関する調整を行った。 【下半期の実施予定等】 １月に第２回要保護児童対策地域協議会実務者会議（代表者部会）と子ども関連ネットワークとの合同で、外部講師を招いた講演会を会場とオンラインの同時開催予定。	有	新型コロナウイルス感染症の影響により、第１回要保護児童対策地域協議会実務者会議（代表者部会）をオンラインにて実施したが、意見などが出づらい状況であった。
					地域包括支援センター・障害者相談支援センター連絡会	高齢・障害課	高齢者支援カンファレンスへの定例参加（月１回実施）	毎月実施している高齢者支援カンファレンスに障害者相談支援センターが定例出席している。複合化した課題に対して、包括的相談支援の実現のため事例を通じた役割分担や連携の在り方について検討を行っている。	無	

計画理念 ： みんなで支え合う 福祉のまち麻生　～麻生区らしい地域包括ケアシステム構築をめざして～

基本目標		基本施策	取組No.	取組名	事業・取組	関連する部署	数値で把握することが可能な取組（9月末時点）※重点項目のみ12月末時点	取組内容の実績等（9月末時点）※重点項目のみ12月末時点	コロナ禍の影響の有無	備考（コロナ禍の影響に関して）
3 「ひと・もの・場」をつなぐ自助・互助の仕組みづくり	◆地域くるみで安全安心に暮らせる仕組みづくりに取り組む ◆地域の支え合いのネットワークがある	1 保健福祉課題の共有化と地域くるみの対応	15	認知症にやさしいまちづくりの推進	認知症介護教室	地域支援課	認知症会介護教室：年6回開催予定、4回開催済み。延べ33人（実人数15人）	感染予防対策をとり、5月、7月、9月、１１月実施。関係職種から疾患や介護方法について学ぶとともに、認知症家族会「はなみずきの会」の連携協力のもと介護者の座談会を実施した。 【今後の実施予定等】 1月（認知症看護認定看護師）、3月（医師）に感染予防対策をとり開催予定。	有	7月の認知症看護認定看護師の座談会への参加は講師のみオンライン参加で実施。
					あさおオレンジプロジェクト	地域支援課	あさおオレンジプロジェクト：3回 麻生図書館・柿生分館パネル展示：2回 認知症サポーター養成講座：37回（再掲） ＲＵＮＴＯＭＯ＋あさお実行委員会へ出席：７回 キャラバン・メイト連絡会：１回 認知症にやさしいまち表彰:７店舗	・あさおオレンジプロジェクトの実施により、麻生区の認知症施策の検討を行った。 ・図書館（麻生図書館、柿生分館）での展示により、市民に対し、認知症の方への理解を進めた。 ・認知症サポーター養成講座を開催し、認知症への理解を深め、地域の中で見守るサポーターを養成した。 ・ＲＵＮＴＯＭＯ＋あさお実行委員会（区内の認知症に関係する事業所等で構成）に共催として会議に参加した。しんゆりフェスティバルにて、ステージイベント（認知症についてのPR）、パネルやチラシを活用した啓発活動、動画の上映を実施した。また、麻生区チャンネルと区役所内のデジタルサイネージにて動画を配信した。 ・キャラバン・メイト連絡会を実施し、市内キャラバン・メイトへの情報提供及び認知症サポーター養成講座開催に向けての情報交換を実施した。 ・認知症サポーター養成講座を受講し、今後、認知症の方々の居場所となりたい思いや、地域で見守っていきたいとの思いのある、麻生区内及び近郊の都市の企業・店舗に対し、「認知症にやさしいお店」として、区長から表彰を行い、ステッカーを授与した。 【今後の実施予定等】 ・あさおオレンジプロジェクト会議：１回（３月） ・地域での認知症サポーター養成講座：随時 ・市民向け認知症サポーター養成講座のフォロー講座（講演会）：2回（２／７、３／６） ・第２回キャラバン・メイト連絡会：１回（３／１０）	有	新型コロナウイルス感染症の影響により、講演会を対面とオンラインのハイブリッド開催にする予定。
					認知症訪問支援事業	高齢・障害課	認知症訪問支援チーム員会議：6回（定例5回、臨時１回） 令和４年度新規対象者：６件	認知症訪問支援事業チーム員会議を隔月開催。支援対象者を医療介護等の支援につながるよう専門職による検討を行った。 【今後の実施予定等】 隔月開催及び相談に応じて臨時開催し、ケース選定を行う。２月に第６回開催予定。	有	チーム員が訪問等に活用するため感染対策用品を専用に準備した。
					あさおSOSネットワーク事業	高齢・障害課	区内発生件数：１件（解決済）	区内で発生した場合に庁内等関係機関で情報共有できるように、区社会福祉協議会、保護課、地域支援課、地域ケア推進課に情報提供を行った。	無	
			16	子育て支援・交流の場づくり	父親向け育児講座・親と子の遊びタイム	保育所等・地域連携担当	実施事業：２事業	・「新米パパ＆ママ」3回連続講座前期　申込み8組 公立保育所職員と一緒に栄養士、保育士、看護師の講座の実施、懇談する時間を持ち交流できるようにした。 ・「にこにっこ」父親向け2回連続講座前期　申込み６組 公立保育所の保育士と実施、簡単な制作やふれあい遊びの実施、父親同士懇談ができるようにした。 【下半期の実施予定等】 ・「新米パパ＆ママ」3回連続講座（後期）　実施予定 ・「にこにっこ」父親向け2回連続講座（後期）　実施予定	有	感染症対策として、１回あたりの参加者数を制限している。
					未就園児家庭のサポート	保育所等・地域連携担当	－	未就園の５歳児対象のチラシを作成。	有	状況により実施内容はオンラインも利用するする等安全にできるようにする。
						地域支援課		翌年度就学予定で集団に属していない児童の保護者に、就学に向けた支援を行った。	無	
					こんにちは赤ちゃん訪問	地域支援課	こんにちは赤ちゃん訪問　５７件	育児不安や孤立の軽減、地域とのつながりがもてるよう訪問を実施した。 【下半期の実施予定等】 訪問員のスキルアップのため、研修と連絡会を１１月１８日に実施予定。また、養成研修を２月１４日に実施予定。	有	訪問を希望しない世帯もコロナ禍で見られる一方、本事業の件数は昨年度から増加している状況がある。
					こども関連大学連携事業	地域ケア推進課	未就学児親子向け支援事業　1件 小学生向け支援事業　２件	・区内小学生を対象に「ファミリー体験学習in鶴見川」を実施。15組30名の参加があった。 ・４歳以上の子どもと家族を対象とした「昭和音楽大学吹奏楽団特別演奏会」を実施。午前と午後、合わせて1,100人以上の一般来場者があり、多くの区内在住親子が参加した。 【下半期の実施予定等】 ・昭和音楽大学と連携し、区内小学生を対象とした「交流コンサート」を１２月に実施予定。 ・玉川大学と連携し、区内小学生を対象とした体験学習を１２月に、乳幼児の保護者・妊娠中の方を対象とした連続講座を1～2月に実施予定。	有	・昭和音楽大学との連携事業は、子どもと学生との対面の交流、触れ合いが制限されている。
						保育所等・地域連携担当		田園調布学園大学にて未就学児親子を対象に「キッズアート」の開催を実施。新型コロナウイルス感染症の対策を徹底し、手伝いの学生の関り方等見直し、感染症対策を実施した関わり方をしてもらった。 【下半期の実施予定等】 田園調布学園大学で未就学児親子を対象に「あそぼう！けろけろ」開催予定。10月14日、12月9日２回実施予定。	有	コロナ感染対策の実施、人数等制限している。

計画理念 ： みんなで支え合う 福祉のまち麻生 ～麻生区らしい地域包括ケアシステム構築をめざして～

基本目標		基本施策	取組No.	取組名	事業・取組	関連する部署	数値で把握することが可能な取組（９月末時点）※重点項目のみ12月末時点	取組内容の実績等（９月末時点）※重点項目のみ12月末時点	コロナ禍の影響の有無	備考（コロナ禍の影響に関して）
３ 「ひと・もの・場」をつなぐ自助・互助の仕組みづくり	◆地域くるみで安全安心に暮らせる仕組みづくりに取り組む ◆地域の支え合いのネットワークがある	１ 保健福祉課題の共有化と地域くるみの対応	16	子育て支援・交流の場づくり	子育てグループ交流会	地域ケア推進課	交流会：1回　10名参加 連携団体数：7団体	昨年度とは異なるグループの参加者も多く、グループ同士の情報交換等の機会となった。	無	今年度は、計画時点でオンライン開催を計画していただき、影響なし。
						保育所等・地域連携担当		保育士が交流会に参加し、ファシリテーションを行った。		
					あさお子育てフェスタ	企画課	第９回あさお子育てフェスタの実施 来場者数　約2500人	・子育て世代のための情報提供や親子のふれあいの場として９月１７日（土）に開催し、29団体（地域の子育て支援団体等）が参加・協力した。開催に向けて、参加団体との全体調整会（１回）実施。その他、各団体との出展内容の調整は５課で分担し、準備を行った。 【下半期の実施予定等】 今年度の実施結果をとりまとめ、参加団体への情報共有及びHPへ掲載を行う。また次年度の開催に向け、担当課で開催方法の検討を行う。	有	・感染対策として、運営方法を見直し、手指の消毒及び検温等を実施した。また多くの参加者が集中したブースは、人数制限を行った。 ・出展配置について、以前は一つの部屋に複数団体の出展を行っていたが、基本的に１つの部屋に１団体とし、密にならないように配置変更を行った。
						生涯学習支援課				
						地域ケア推進課				
						地域支援課				
						保育所等・地域連携担当				
			17	災害対応力の強化・支援	災害対応力の強化・支援	危機管理担当	地域における自主防災組織の訓練の実施 回数：13回 総合防災訓練の実施：0回 区民防災塾の開催：1回 避難所運営会議の開催：8ヵ所 ぼうさい出前講座：7件 防災資器材購入補助金：申請0件	・自主防災組織の訓練に対する自主防災組織活動助成金や、防災資器材購入補助金の交付を通じた活動支援を行った。 ・区民防災塾を6月4日に開催し、災害時に役立つアウトドアテクニックやローリングストックを学び、区民の防災意識・スキルの向上と「自助」の強化を図った。 ・区内２５ヵ所の指定避難所における年１回開催の避難所運営会議にて、避難所の運営について検討と開設訓練等を実施した。 ・「ぼうさい出前講座」制度にて、住民の集会等に区の危機管理担当が参加し、防災知識の普及啓発を実施した。 【下半期の実施予定等】 区総合防災訓練は、第１回は１１月12日に新百合ヶ丘駅等で区民や自主防災組織、企業市民を含めて開催予定。第２回は１２月３日に旧白山中学校で自主防災組織向けの実戦形式による防災訓練を開催予定。	無	
						高齢・障害課	災害時要援護者避難支援制度 新規登録：１１件 （障害者２件、高齢者９件）	災害時要援護者避難支援制度の申請窓口として危機管理担当等関係部署と連携。 障害児者の個別避難計画について順次作成中。 【下半期の実施予定等】 二次避難所連絡会議を開催予定。（時期・開催方法未定）	有	参加者の属性を考慮し、感染拡大防止の観点から開催方法を検討した。
						地域支援課	—	区役所情報コーナーにて備蓄食品レシピ集や備蓄のすすめのチラシを配架。その他町内会や自主防において配布。 課職員向け風水害時の避難所運営の研修を企画、実施し、実際に従事する際の対応力の強化を図った。 【下半期の実施予定等】 11月１２日の総合防災訓練にて家庭備蓄、口腔ケアの重要性について普及啓発を行う。直営の乳幼児健康診査実施時に震災が起こった時を仮定し、職員・ボランティア等と緊急時の各々の役割・対応の訓練を年に１回予定している。	無	
			18	地域活動団体の交流の場づくり	あさお福祉まつり	地域ケア推進課	第33回あさお福祉まつりの実施（予定）	11月13日の実施に向けて、麻生区社会福祉協議会と協定を締結。「第33回あさお福祉まつり実行委員会」の事務局である区社協に対し、事業実施支援等を行う。 【下半期の実施予定等】 11月13日に実施予定。58団体が参加予定。	有	飲食スペースの廃止や感染対策に配慮した規模でのまつり実施となる。また、コロナ禍の影響により参加を辞退する団体もある。
					麻生市民館サークル祭	生涯学習支援課	参加サークル数：29サークル 来場者数: 約1500人	サークル活動の1年間の集大成の発表の場、及びサークル・地域間の交流の場として、6月4日、5日に開催した。市民館の大ホール、大会議室等を利用し活動発表を披露した他、ギャラリーで美術展を実施した。	無	

計画理念 ： みんなで支え合う 福祉のまち麻生　～麻生区らしい地域包括ケアシステム構築をめざして～

基本目標		基本施策	取組No.	取組名	事業・取組	関連する部署	数値で把握することが可能な取組（9月末時点） ※重点項目のみ12月末時点	取組内容の実績等（9月末時点） ※重点項目のみ12月末時点	コロナ禍の影響の有無	備考 （コロナ禍の影響に関して）
3 「ひと・もの・場」をつなぐ自助・互助の仕組みづくり	◆地域くるみで安全安心に暮らせる仕組みづくりに取り組む ◆地域の支え合いのネットワークがある	1 保健福祉課題の共有化と地域くるみの対応	19	町会・自治会との連携	町会・自治会への活動支援	地域振興課	町会・自治会ガイドブック： 6,000部発行（予定） 町内会・自治会活動応援補助金： 47町内会・自治会から申請 麻生区町会連合会の研修・勉強会： 3回（予定）	・「町会・自治会ガイドブック」（A4判24ページ）について、麻生区町会連合会と今年度の仕様の検討を行った。 ・町内会・自治会活動応援補助金について、説明会を5月に3回開催するとともに、随時個別相談を行い、9月末時点の交付申請件数は47町内会・自治会。 ・麻生区町会連合会では町会・自治会活動の活性化ために研修会・勉強会を開催しており、5月には町会の活動取組み事例等に関することを議題として、「新任町会長・自治会長研修」を実施した。 【下半期の実施予定等】 ・麻生区町会連合会との協働により掲載内容等の検討を行い、更新した上で改訂する。麻生区転入者及び各町会・自治会へ配布することによって、町会・自治会への加入を積極的に勧める。 ・町内会・自治会への個別相談を引き続き行い、交付申請は令和4年12月末、活動報告は3月末までを締切として交付の手続きを進め、町内会・自治会への支援をさらに強化する。 ・行政・関係機関の施策に関することを議題とした「町会長・自治会長会議」を1月中に、視察地を川崎区として町会長・自治会長を対象とした「勉強会」を令和4年度中に開催し、町会・自治会活動の活性化を図る。	無	
					町会・自治会との連携した地域づくり	地域ケア推進課 地域支援課	地域情報交換会の実施 麻生東第2地区　参加者30人 柿生第1地区　実施予定	民生委員児童委員と町会・自治会、地域包括支援センターが意見交換を行う「地域情報交換会」を、麻生東第2地区で実施することを支援した。9月3日に実施、30人が参加した。 【下半期の実施予定等】 ・10月22日に柿生第1地区の一部地域で実施予定。	無	
					見守り活動・サロン等への活動支援	地域支援課	—	町会・自治会・民生委員・包括支援センター・民間企業など関係機関と連携し、新たにつながり、居場所、健康づくりの場となるサロンやラジオ体操（公園）の立ち上げ支援を行った。開始後もボランティアの活動支援を継続的に実施した。	無	
			20	地域支援ネットワークの構築	地域包括ケアに関する会議	地域ケア推進課	地域包括ケアシステム推進会議：3回（予定）	地域包括ケアシステム推進会議を行い、区内関連団体等と意見交換を実施した。 【下半期の実施予定等】 第2回は10月、第3回は2月に開催予定	無	
						地域支援課	地域ケア圏域会議出席：10回	地域包括支援センターが主催する「地域ケア圏域会議」に出席し、町会役員や民生委員等地域住民や関係者と地域の現状や課題を共有し、地域活動に繋げられるよう支援した。	無	
						高齢・障害課	相談支援・ケアマネジメント推進委員会年3回実施	6月：第1回開催。包括が主催する調整会議及びケアマネ連絡会の幹事会や地域包括支援センターとケアマネ連絡会で共催する研修等についての年間計画を作成した。区課題整理シートに地域ケア会議等からの課題や区内で実施する取組を掲載し、更新していく。 【下半期の実施予定等】 第2回は10月、第3回は3月に開催予定	無	
		2 要支援者等へのサポートの充実	21	地域における見守り事業の充実	ひとり暮らし等高齢者見守り事業	高齢・障害課	見守り対象者：44名	令和3年度が全数調査であり、今年度は差分調査となり調査対象者は区内1,300名ほど。9月～10月に民生員児童委員協議会に事業説明し、今年度のスケジュールをお伝えした。 【今後の実施予定等】 3月までに見守り対象者を選定予定	有	郵送中心の調査方法に変更した。
					麻生区高齢者見守りネットワーク事業	高齢・障害課	協力事業所：24業者（新規1事業者加入） 情報交換会：1回	協力事業者及び関係機関（民生委員、地域包括支援センター、警察、消防など）との情報共有及び連携強化を図り、事業を円滑に運営することを目的とする情報交換会を8月に実施。今年度は新たに1事業所が加入した。また、市政だより麻生区版11月号に特集記事を掲載した（再掲）。 【今後の実施予定等】 第2回情報交換会を2月にオンラインで開催予定。	有	情報交換会が対面開催のため、企業の規定によりやむなく欠席となる事業所もあった。
					川崎市地域みまもりネットワーク事業	地域ケア推進課	通報件数：4件（12/31現在）	・協力民間事業者からの通報を受け、対象者の安否確認等必要な対応を行った。	無	
			22	災害時要援護者に対する制度の推進	災害時要援護者避難支援制度	危機管理担当	制度の申請等に伴う新規・変更・抹消登録者に関する自主防災組織への送付数：65件 登録者数：605名	制度の申請があり次第、名簿等の重要書類を自主防災組織へ送付し、申請者への訪問等を依頼するとともに、民生委員との連携を促した。また、町会・自治会からの求めに応じ、役員会に出席して制度の説明を行った。	有	自主防災組織によっては、制度登録者への訪問を控えているところがある。
						高齢・障害課	災害時要援護者避難支援制度 新規登録：11件 （障害者2件、高齢者9件）	災害時要援護者避難支援制度の申請窓口として危機管理担当等関係部署と連携。	無	

計画理念 ： みんなで支え合う 福祉のまち麻生　～麻生区らしい地域包括ケアシステム構築をめざして～

基本目標		基本施策	取組No.	取組名	事業・取組	関連する部署	数値で把握することが可能な取組（9月末時点）※重点項目のみ12月末時点	取組内容の実績等（9月末時点）※重点項目のみ12月末時点	コロナ禍の影響の有無	備考（コロナ禍の影響に関して）
3 「ひと・もの・場」をつなぐ自助・互助の仕組みづくり	◆地域くるみで安全安心に暮らせる仕組みづくりに取り組む ◆地域の支え合いのネットワークがある	3 地域福祉を支える関係者の支援とネットワークの強化	23	麻生区地域自立支援協議会の推進	麻生区地域自立支援協議会	高齢・障害課	企画運営会議：月1回	令和３年度からの自立支援協議会の新体制について、企画運営会議で検討を行っている。	無	
			24	地域包括支援センターとの連携	地域包括支援センターとの連携	高齢・障害課	地域包括支援センター運営協議会：年２回 地域包括支援センター連絡会議：月１回 高齢者支援カンファレンス：月１回	地域包括支援センター連絡会議を月１回開催し、包括の業務に関する情報共有や検討を行っている。 昨年度、区独自に新設した高齢者支援カンファレンスについて今年度はテーマを設けた回を年数回設定し、参加者のスキルアップとネットワーク構築のため実施している。 6月「成年後見」をテーマに司法書士や成年後見支援センターを招集。9月は「弁護士」をテーマに弁護士２名を講師に実施。多職種・多機関の参加があり効果を認識している。 【下半期の実施予定等】 地域包括支援センター運営協議会第１回を10月に開催予定、第２回は２月に開催の方向。 高齢者支援カンファレンスは今後「精神疾患」「医療連携」をテーマとする予定。	有	会場設定や開催方法について様々な配慮を要した。
						地域支援課	地域包括支援センター連絡会議出席：月1回	地域包括支援センター連絡会議に出席し、情報の共有化を図り、連携の強化と活動の支援を行った。 高齢者支援カンファレンスに毎回参加し、地域の高齢者支援について情報共有を行った。 適宜、圏域会議の開催や地区活動の新規立ち上げ支援など課題共有、情報交換を実施している、	無	
			25	子どもに関わる機関・団体との連携	麻生区子ども関連ネットワーク会議	地域ケア推進課	開催数：1回	現状や課題に関する情報交換を行った。 【下半期の実施予定等】 ・11月に第2回会議を実施予定。 ・11月に区民向けに「保護者が知っておきたい金融教育講座」を開催予定。	有	ハイブリット形式の会議で実施した。
			26	民生委員児童委員協議会への活動支援	民生委員児童委員協議会への活動支援	地域ケア推進課	地区民生委員児童委員協議会：月１回／６地区	区内６地区にある民生委員児童委員協議会の運営と地域活動等を支援した。一部の民生委員児童委員協議会で実施した地域情報交換会の運営を支援するとともに、民生委員児童委員一斉改選に関する広報活動を行った（市政だより、チラシ等）	無	
			27	麻生区社会福祉協議会との連携	麻生区社会福祉協議会との連携	地域ケア推進課	―	以下の内容について、相互の取組に参画し、連携強化を図った。 ・麻生区社会福祉協議会が主催する各種委員会に委員として参加し、情報共有した ・麻生区社会福祉協議会の事業に広報に協力した（民生委員児童委員活動強化月間における横断幕・懸垂幕掲示）	無	
			28	在宅療養に関する取組の推進	麻生区在宅療養推進協議会との連携	高齢・障害課	区民向けシンポジウム：年１回 多職種連携の会：年１回	麻生区在宅療養推進協議会（麻生区医師会）と連携して取組を実施。昨年度は感染拡大の影響を受けてシンポジウムは延期とした。 多職種連携の会は６月に開催し、精神疾患について学びハイブリットで実施した。 【下半期の実施予定等】 麻生区在宅療養推進協議会（麻生区医師会）と連携し区民向けシンポジウムを３月二実施予定。	有	オンラインを取り入れた実施に向けて区でも開催支援を行うなど、企画運営を担う中心メンバーが医療介護従事者であるため事業実施に対して十分な時間を割くことが困難な状況であった。
					在宅療養に関する普及啓発	地域ケア推進課 地域支援課	―		無	
			29	社会福祉法人等の地域公益活動の推進	社会福祉法人等の地域公益活動の推進	地域ケア推進課 地域支援課	あさおサロン送迎等推進会議情報共有メール：６回配信	社会福祉法人等のネットワークをつくり、地域公益活動の推進に向けた情報共有の手段としてメールフォームを活用している。	無	
			30	福祉関係団体への活動支援	福祉関係団体への活動支援	地域ケア推進課	総会・定例会等開催回数： 保護司会 ９回 遺族会 ２回 赤十字奉仕団 １回	各種団体の事務局として、総会や定例会の運営補助（会場準備・開催案内送付・出席者集約・資料作成・印刷・外部関連機関への報告　等）を行うとともに、必要に応じて会に出席し、区からの各種情報提供を行うなど、関係団体と密に連携しながら活動支援を行った。	無	

資料２

第7期麻生区地域福祉計画　策定スケジュール

本表は、前回（令和2年度）策定の際のスケジュールを基本にした、現段階での想定となります。
実際には、各項目の内容や実施時期について変更等が生じる場合があります。

	市計画	**区計画**	公募委員選定
4月			
	地域課題の把握、統計データ収集		
	第1回地域福祉専門分科会		
5月	地域福祉実態調査結果分析	地域福祉実態調査結果分析	
		庁内における検討	
		第1回あさお福祉計画推進会議（第6期の振り返り、課題の整理・検討	
6月	第2回地域福祉専門分科会		
	計画フレームの提案	基本理念、基本目標、重点取組等の検討	
7月			
	サマーレビュー		
	概念図作成	**第2回あさお福祉計画推進会議（第7期計画骨子案の提案）**	
8月	第3回地域福祉専門分科会		
		庁内における施策内容の確認	
		↓	
9月			
		庁内における検討	
		第3回あさお福祉計画推進会議（計画書（案）最終校確認）	
10月	第4回地域福祉専門分科会		
11月			
	議会（健康福祉委員会）へ報告		
12月	パブリックコメント		募集開始
	↓		
	↓		
1月			
	↓ 区民説明会の実施（検討中）		
	パブリックコメント、説明会意見を反映した計画書原案作成	パブリックコメント、説明会意見集約	応募締切
2月			
	計画書校正、概要版案作成	計画書、概要版校正	
		第4回あさお福祉計画推進会議（計画書（案）確定）	
3月			
	第5回地域福祉専門分科会	計画書、概要版確定	結果通知
	計画書、概要版納品・議会へ結果報告		

資料３

次期計画策定に係る検討事項について

検討課題	該当箇所	今後の方向性
1　地域ケア圏域ごとの概要について	**p42～53** 第1章あさお福祉計画について 3 麻生区の地域の特色 (5) 地域ケア圏域ごとの概要	地域ケア圏域（民児協エリア）ごとに、「地区の特色」や「地域活動紹介」などについて掲載することを検討しています。
2　次期計画における重点項目について 第6期計画における重点項目 1　地域活動の参加につながる取組の推進 2　保健福祉に関する情報発信の充実 3　認知症にやさしいまちづくりの推進 4　地域における見守り事業の充実	**p65** 第2章麻生区の取組 3 第6期計画における重点項目	本会議において、令和3・4年度の実施結果を踏まえ検討していきます。
3　取組における成果指標について 〈会議における委員意見（要旨）〉 ・取組1つずつの目標まで立てる必要はないと思うが、できれば目標値があったほうが良い。 ・他市の福祉計画においても、数値で適合する目標は数値で置き、そうでないものは達成されたときの状態がどんなイメージなのかという表現を使う傾向がある。数値に振り回される弱点もあるが、可能な限り数値化するかたちで進めたらどうか。	**p68～79** 第2章麻生区の取組 5 具体的な取組について	重点項目を中心に、一部の取組において成果指標の設定を検討しています。具体的な案は、本会議においてお示しします。
4　その他 ・冊子の構成や内容等について		地域福祉計画を多くの人に知ってもらうために、地域活動の写真やコラム、インタビュー記事等も掲載することを検討しています。

資料４

各区福祉計画体系

区	基本理念	基本目標		基本方針（色付きは重点項目）	
川崎区	つながりを育て 安心して暮らせるまち かわさき区	1	つながりをみんなで育てる地域づくり	1	誰もが参加できる健康・いきがいづくり
				2	地域活動への支援・参加の促進
				3	地域活動・交流の場づくり
		2	安心して暮らせる地域づくり	1	情報提供の充実
				2	相談支援の充実
				3	保健・福祉人材の育成
		3	見守り・支え合いのネットワークづくり	1	支援につながる仕組みづくり
				2	区民・団体・行政等の連携による支援体制づくり
幸区	夢が広がり、想いがつながり、心が届くまちさいわい	1	一人ひとりに【ひろがる】 地域包括ケアへの理解と参加の広がりによる区民主役の地域づくり	1	わがまちや地域包括ケアのことを知る
				2	生涯を通じた健康づくりを進め
				3	地域活動の担い手を広げる
		2	地域で【つながる】 人と地域のつながりが活発で、見守り、支え合うことのできる地域づくり	1	多様な地域活動からつながる
				2	多様なつながりから、新たな地域活動を育む
				3	多様な人がともに住むことへの理解を深め、互いに見守り・支え合う
		3	必要な時に【とどく】 総合的な体制で必要な相談・支援が届く仕組みづくり	1	支援が必要な方に、専門性の高い情報を的確に届ける
				2	包括的な相談支援機能を充実する
				3	防犯・防災のまちづくりを進める
		4	【すすめる】 地域福祉を進める基盤体制の確立とネットワークづくり		
中原区	福祉のこころ、人と人との橋わたしで支え合える地域づくり	1	区民が主役の地域づくり	1	誰もが参加できる健康・いきがいづくり
				2	ボランティア・地域活動支援
				3	活動・交流の場づくり
				4	地域で活躍する担い手づ くり
				5	地域の見守り・支え合いの推進
				6	地域課題の解決に向けた支援の充実
		2	必要な支援やサービスが的確に届けられる仕組みづくり	1	情報提供の充実
				2	包括的な相談・支援機能の充実
		3	多様な主体が連携した施策・活動の推進	1	保健・医療・福祉の連携
				2	市民・事業者・行政の連携・協働
				3	社会福祉協議会との連携・協働
		4	地域参加の仕組みづくり	1	地域マネジメントと地域コミュニティの推進
高津区	区民がともに支え合い安心して暮らせるまち高津の実現 ～高津区らしい地域包括ケアシステムの構築をめざして～	1	区民が主役の福祉の地域づくり	1	健康づくり・いきがいづくりの推進
				2	活動・交流の場づくりや機会づくり
				3	地域活動への参加の促進
				4	地域福祉活動の活性化
				5	区民同士が緩やかにつながる地域の居場所づくりの推進
		2	区民ニーズをふまえた福祉サービスの提供	1	情報提供の充実
				2	相談支援体制の充実
				3	地域福祉の担い手の養成
				4	生活困窮者への支援の推進
		3	支援を必要とする人が適切な支援につながる仕組みづくり	1	地域の見守り、支え合いの推進
				2	安心して暮らすための支援
				3	虐待への適切な対応の推進
				4	災害時の支援体制の充実
		4	多様な主体の協働・連携による施策・活動の推進	1	保健・医療・福祉の連携
				2	区民・事業者・行政の協働・連携
				3	社会福祉協議会との協働・連携

宮前区	みんなでつくろう ご近助のわ ～ゆるやかにつながり　安心して暮らせる地域づくり～	1	ご近所で「ささえあう」地域づくり	1	誰もが参加できる健康・いきがいづくり
				2	様々な団体や区民が地域で活動し、支え合う地域づくり
				3	安心して暮らすための支援して参加できる活動・交流の場づくり
				4	ご近所で支え合う地域づくり
		2	支援に「つながる」きっかけづくり	1	理解と共感を広げる情報発信の充実
				2	相談を通じた不安・困りごとの軽減
				3	支援につなぐ人材・ネットワークづくり
				4	支援が必要な人への見守り、支え合いの推進
				5	虐待への適切な対応の推進への適切な対応
		3	区民・事業者・行政等が「一体となる」ネットワークづくり	1	保健・福祉分野での協働・連携の推進
				2	区民・事業者・行政などの連携による地域福祉の向上
多摩区	多様な主体と多世代がつながる支え合いのまち多摩区	1	区民一人ひとりが参加する地域づくり	1	情報提供の拡充
				2	地域で活躍する人材の育成
				3	地域活動への支援
		2	多世代交流でつながる地域づくり	1	身近な地域での交流の促進
				2	地域の支え合い活動の推進
		3	見守り・支え合いのネットワークづくり	1	支援につながる仕組みづくり
				2	区民・団体・民間・行政の連携

区	計画理念	基本目標		基本施策		取組（色付きは重点項目）	
麻生区	みんなで支え合う 福祉のまち麻生 ～麻生区らしい地域包括ケアシステム構築をめざして～	1	区民が主役の地域づくり	1	地域活動を担う 人材の発掘と育成	1	地域活動の参加につながる取組の推進
				2	区民が主役の 地域活動の推進	2	地域活動団体等への活動支援
						3	地域資源を活用した地域づくりの推進
						4	地区カルテを活用した地域づくりの推進
				3	健康づくり・ 介護予防の推進	5	健康づくり・介護予防事業の推進
						6	健康に関する知識の普及啓発
		2	区民本位の福祉サービスの提供	1	保健・福祉情報の 発信と充実	7	保健福祉に関する情報発信の充実
				2	窓口における相談体制の充実	8	窓口におけるサービス機能の向上
				3	専門分野の相談支援体制の充実	9	子どもに関する相談支援体制の充実
						10	保健福祉に関する相談支援体制の充実
						11	虐待に関する相談支援体制の充実
						12	成年後見制度への対応の充実
						13	精神保健福祉事業の充実
						14	専門分野の連携体制の強化
		3	「ひと・もの・場」をつなぐ自助・互助の仕組みづくり	1	保健福祉課題の共有化と地域ぐるみの対応	15	認知症にやさしいまちづくりの推進
						16	子育て支援・交流の場づくり
						17	災害対応力の強化・支援
						18	地域活動団体の交流の場づくり
						19	町会・自治会との連携
						20	地域支援ネットワークの構築
				2	要支援者等へのサポートの充実	21	地域における見守り事業の充実
						22	災害時要援護者に対する制度の推進
				3	地域福祉を支える関係者の支援とネットワークの強化	23	麻生区地域自立支援協議会の推進
						24	地域包括支援センターとの連携
						25	子どもに関わる機関・団体との連携
						26	民生委員児童委員協議会への活動支援
						27	麻生区社会福祉協議会との連携
						28	在宅療養に関する取組の推進
						29	社会福祉法人等の地域公益活動の推進
						30	福祉関係団体への活動支援